

名古屋土木出張所職員鍊成

内務省名古屋土木出張所

内務省名古屋土木出張所に於て本年四月中に職員鍊成を施行したる處多大の効果を收めたるを以て池本技師の鍊成所に關する所感、鍊成の日割等並に被鍊成者の感想其の他を記し以て參考に供する次第である。

内務省名古屋土木出張所に於ける

職員鍊成所に就て

池 本 泰 兒

今年三月に卒業した中等工業學校等の技術者が二十三名、名古屋土木出張所に新しく就職せられた。富永土木出張所長は此人達の鍊成教育を施したいと考へられて夫れを鈴鹿工事事務所に於て生徒を預かる様にと命ぜられた。

鈴鹿工事事務所は新しく○委託工事をやるために設立せられたもので宿舎としては人夫宿舎の新築のものがあつたし、又此工事

には地元も力を入れて應援して呉れてゐたので、食料品にも不自由なく配給を受けることが出来たのである。

◇

現在の時局に於て各人は此大東亞戰爭に絶対に勝抜くためには夫々の職域に滅私奉公しなければならない。自分の立身出世のためとか己の享樂の資のために働くのでなくて國の組織のなかにあつて一分子として自分の地位に於て最善の努力が爲されなければならぬ。此考へ方は丁度軍隊に於ける組織の様なものだと私は確信してゐる。命令に依つて與へられた職分に於て全力を盡して其の組織を完成し全體として大きな力となつて人間力以上の大事業を完成するのである。死地に飛び込めとの命令があつても喜んで其の命令を受けられる様になるのである。

此組織と規律とは大土木工事を施工してゐる内務省直轄工事施工を受け持つてゐる土木出張所の各工事事務所に於ても是非共持

たなければならぬことは同様であると私は考へて居た。上司の命令の處置には唯敢然と之を處理する様にならなければ立派な仕事は出来る筈はない。詳しいことは知らないけれど獨逸の土木建設隊などは此様なものであらうとも思つて居る。それで私が名古屋土木出張所に勤務を命ぜられ事務所長の地位を興へられた時から此規律を所員一同に自覺せしめやうと意識して導いて行かうと努力した。

日本人はお互に相協力してやらうとする氣持を多分に持つてゐる。然し其の協力の氣持の表はれば夫々數個の黨派をなして其の黨派の中のもののみは親しく交るけれども他の黨派に屬する者には敵對意識を働かせてゐるのである。

之れが土木建設に従事する一工事事務所に於て其處の從務者が數個の組に別れて全體として協力する氣持がなければ到底完全なる土木事業の遂行が出来るものでない。夫れで此の日本人の立派な協力心を事務所全體が一團となつて其處の所長を援けて完全一體となつて御國に奉公する氣持を持つて行かなければならぬのである。

其處へ持つて行く訓練と云ふか錬成と云ふもの方法には幾らも方法があるであらうが私には一つしか方法がなかつた、命令に依つて事務所所員は結成せられるのであるが、本人達が一所に働く様になつたことは事務所所長になつた人間としても偶然であり、

所員としても偶然的の機縁なのである。一緒に同國のため土木建設隊をなすとしても總て國家の官吏であり、夫々各人に割當られた仕事を遂行して居ればよいのであり、他の人の仕事に干渉する必要もなければ「時には妨害するとか或は故意に相手の仕事の能率を下げしめる様なことをしても表面に現はれなければ敢えて罪にもならない様になつてゐる。」自分の保身上へ氣をつけて居れば夫れでも濟むのである。多少共此様な氣持は誰でも持つて居られるであらうと思ふ。此様な空氣のなかにあつて事務所長の行ひ得ることは役所の規定に依て事務と工事を所員の各個人の力の量に應じて進めて行くだけである。現在其の人が出してゐる力を二倍に出させると云ふ權利もないし、當然全所員の全力的の協力に依つて人間業以上の大きな効果を仕事上に發揮せしめる力などある筈はないのである。

だから全所員に丁度軍隊的の組織に近い規律を自覺せしめる方法としては上司の判斷は常に正鵠を得てゐると信ぜしむること上司は絶対に其の部下を裏切らないと云ふこと、法に合はない様なことは絶対に許さないと云ふこと、全員に心からの信頼を受ける様に心も身も正しく生きて行くことに努力して行く方法に依つて永い時間を掛けて所員の氣持を其の方向に引張つて行くのである。

現在鈴鹿工事事務所で働いて居られる方達の大部分は、もう四年間も私と一緒に働いて下さつた方達なのである。恥を云ふ様だ

けれど四年終つて私共は私の企圖する土木建設隊には及びもつかないが僅かに片鱗を呈する程度にししか訓練されてゐないで今日に及んでゐる。

處が今度鍊成所員を預かつて見ると私が四年かゝつてやつと型づくつたものを唯の一日で全員をすつかり其の氣持にさせてしまひ、更に二十日間かゝつて立派に其の鍊成に磨をかけてしまつたのである。私は之を見て驚歎するより他なかつたのである。

初め鍊成所を鈴鹿工事事務所に持つて來る時に生徒の指導者として天龍川工事事務所従務中の山口鹿之助技手補を仁科所長が推薦せられたので其の人に專任となつてやつて頂くことになつた。

山口君は軍隊に約六年程も居られて内務班長をして居られ新入營者の訓練を受け持たれて居て最近歸郷せられたばかりの伍長殿である私は軍隊のことは何一つ知らないが新入營者の教育こそ日本軍隊を造る根本となる筈のものだと思ふのである。山口君の號令の立派さは日本軍隊の立派な號令の威力に心からなる敬意を表する。そして山口君の二十一日間生徒を唯の一秒と雖も退屈させなかつた手腕も亦驚歎に値するばかりである。

鍊成に關する時間割、日程は私が造つて當永所長の御決裁を得て決定したものであるが、午前五時起床、六時半より十一時半まで文字通り人夫と同様の線路敷設土運搬から踏面築造其の他私の

工事場にある程の仕事の種類を實行し、午後一時から四時まで名古屋土木出張所の全部の技師部課長から夫々權威もる講義を受け入浴食事、日誌記入を終へて八時就寢となるのであるが、此の時間割の表面上の實行だけでも出来るかどうかと思つてゐたのであるが、どうして朝の五時起床から六時半の間に洗面、用便、食事の他に、詔書奉讀約七籽の馳足軍隊式に依る體操號令練習を爲し又午後四時講義の後には、銃劍術、體操、軍歌の練習等まで盛り込まれたのだつた。而かも生徒は山口君の號令に従つて完全に之を果したのである。如何に號令が上手であつても山口君の親身の愛を生徒が感じなかつたら生徒は此の猛訓練に従ふ筈はないし又苦し山口君にあれ程の愛情がなかつたとしたら生徒は役所の權力の濫用に依る虐待としか感じなかつたであらう。そんなことになつたら鍊成する處ではなく非常な逆効果を呈したに違ひない。私は人を鍊成することの六難かしさを泌み泌みと感じ今になつて、大膽にも鍊成員をお引受けしたものと自分の無智だつたに恥ずると共に山口君の如き好指導者を得た幸せに感謝するのみである。此處に鍊成所開所式、閉所式次第、鍊成日程、役員並職員録、鍊成學科表、鍊成實習作業表、鍊成時間割及鍊成所生徒氏名を擧げる。之れに依つて鍊成の輪廓を御想像頂きたい。

鈴鹿鍊成所開所式及閉所式時間割表

時分	所要時間	開所式行事	閉所式行事	摘要
六、〇〇	三〇分	起床 整頓	同 上	寢具整理 洗額掃除
六、三〇	二〇分	朝食	同 上	食器整理
六、五〇	四〇分	休憩	同 上	便所の用 を了する こと
七、三〇	三〇分	集合點呼	同 上	式場整備
八、〇〇		開式	閉 式	

國民儀禮

1 國歌奉唱と共に國旗掲揚

2 神宮遙拜

3 皇居遙拜

4 出征將士英靈感謝默禱

職員任命

會長訓示

生徒代表誓詞

閉 式

池本鍊成所長訓示

山口生徒主事

鍊成に關する注意

會長訓示
生徒代表答辭

閉 式

池本鍊成所長講習

山口生徒主事挨拶

解 散

二、三〇

以下鍊成日と同じ

鈴鹿鍊成所鍊成日程

月日	曜日	行 事
四月 九日	金	入 舍
十日	土	開所式
自 十一日	日	作業實習 學科
至 十七日	土	
自 十八日	日	伊勢神宮參拜
自 十九日	月	作業實習學科
至 二十四日	水	
自 二十五日	日	屋外鍊成行事
自 二十六日	月	作業實習學科
至 二十八日	水	
自 二十九日	木	作文祝賀式
自 三十日	金	修了式解散

鍊成所役員並職員

會 長 富永出張所長

副會長 本所兩部長

相談役 各事務所長 課長技師

鍊成所長 池本事務所長

生徒主事 山口技手補(天龍改修)

指導員 出井 屬(鈴鹿工事)

一三〇〇 一時間(開)晝 食

一三〇〇 三〇分(開)作業(事業場見學)

講師	各相談役兩副會長
鍊成所長	生徒主事
各指導員	
佐藤	技手
玉田	技手
村瀬	書記
倉田	書記
木村	技手補
高田	技手補
鈴木	技手補

鍊成學科表

日順	月日	曜日	講師名	講義題目	摘要
第一日	四、一〇	土	開	式	
第二日	四、一一			戰陣訓々談	
第三日	四、一二		池本技師	道路一般	
第四日	四、一三	火	北村技師	道路の構造	
第五日	四、一四	水	伊吹技師	砂防工事	
第六日	四、一五	木	梶谷技師	河川一般	
第七日	四、一六	金	畑谷技師	護岸水制	
第八日	四、一七	土	諸井技師	土工	
第九日	四、一八		伊勢神宮參拜		
一〇日	四、一九		上關技師	土木機械に關する注意	
			宇田川課長	土木機械器具	

第一日	四、二〇	火	仁科技師	飛行場建設工事
第二日	四、二一	水	武藤技師	直轄工事整理方法
第三日	四、二二	木	千田技師	土木技術者の心構
			野口技師	混凝土
第四日	四、二三	金	小野課長	物動計畫資材配給
第五日	四、二四	土	小松原課長	官廳會計
第六日	四、二五	日	屋	外 鍊成行軍
第七日	四、二六	月	富田課長	土木出張所の機構
第八日	四、二七	火	瀧川部長	土木法規大要
第九日	四、二七	水	三池部長	名古屋土木出張所管内工事に就て
一〇日	四、二九	木		鍊成に關する感想
二一日	四、三〇	金	閉	式

鍊成實習作業表

日順	月日	作業名	指導員	作業の内容
第一日	四、一〇	土	現場見學	玉田
第二日	四、一一	日	軌條敷設	山口、高田
第三日	四、一二	月		
第四日	四、一三	火	土	工 佐藤
第五日	四、一四	水		
第六日	四、一五	木		

堀鑿ト口運搬捨土
保線

日	時分	所要時間	行	事	摘	要	時分	備考
" 七日	四、一六金						六、一〇一〇分	集合點呼
" 八日	四、一七土	芝張工	山口、末村	側溝芝張			六、二〇一〇分	國民儀禮
" 九日	四、一八日		山口、出井	伊勢神宮參拜				1 國歌奉唱と共に國旗掲揚
" 一〇日	四、一九月	砂利篩工	山口、木村					2 神宮遙拜
" 十一日	四、二〇火	砂利篩工	山口、木村					3 皇居遙拜
" 十二日	四、二一水	測量製圖	山口、鈴木、玉田	A 測量 B 製圖				4 出征將兵の武運長久並に護國の英靈に感謝默禱
" 十三日	四、二二木	"	"	" B 測量 A 製圖				
" 十四日	四、二三金	路面工	山口、木村	路盤拵				5 勤勞訓高唱
" 十五日	四、二四土	"	"	砂利撒布				現場訓練開始
" 十六日	四、二五日		山口、倉田	屋外鍊成行軍			七、〇〇二時間	道具受取行進
" 十七日	四、二六月	石積工	山口、木村	間知石及礫小運			九、〇〇一五分	休業
" 十八日	四、二七火	コンクリート暗渠製作	"	方及打方			二、二五	休業
" 十九日	四、二八水	木橋架設	"	杭打作業實習			二、三〇	三十分
" 二十日	四、二九木	天長節祝賀式及演藝大會					三、〇〇	一〇分
" 二十一日	四、三〇金			修了式			三、一〇	二〇分
練成時間割表								晝
時分	所要時間	行	事	摘	要	時分	備考	
五、〇〇	三〇分	起床、朝禮、教練		寢具整理洗濯掃除		三、〇〇	一時間二〇分	學科
五、三〇	二〇分	朝食				二、三〇	二〇分	休業
五、五〇	二〇分	休憩		便所の用を了すること		一、四〇	一時間二〇分	學科
						一、六〇	一五分	休業

說苑

- 一六、五 四五分 教練體操
- 一七、〇〇 五〇分 入浴
- 一七、〇〇 一〇分 集合點呼
- 一八、〇〇 三〇分 食事
- 一八、〇〇 一時間 自習
- 一九、〇〇 一〇分 點呼
- 一九、〇〇 二〇分 寢具用意
- 二〇、〇〇 就寢消燈

鈴鹿練成所生徒氏名

所屬所場	出身學校名	氏名	摘要
豐川 工事	名古屋鐵道學校	杉崎 悟	
矢作川工事	〃	岡井 弘治	
鈴鹿川工事	津市立工業學校	西中 照生	
〃	名古屋鐵道學校	安田 保	
參宮 國道	津市立工業學校	上野 昇一	
鳴海 國道	名古屋鐵道學校	八田 昭一	
河和 工事	靜岡興誠商業學校	鈴木 隆二	
鈴鹿 工事	津市立工業學校	宮田 務	
〃	名古屋鐵道學校	加田 昭和	
〃	〃	小林 久光	
中津 砂防	三重獨立農林學校	中村 二三	

庄内川工事 名古屋鐵道學校 川地 弘
 愛知 國道 岐阜縣立第一工業學校 間宮 清
 木曾川上流 〃 小木曾幸親
 大垣 國道 〃 宮島 寛
 庄内川工事 名古屋工業夜間 横田 一郎 四月十一日よ
 入所
 福井 國道 福井縣立農林學校 櫻川 巖男
 靜岡 國道 名古屋鐵道學校 松田 貞範
 天龍川工事 〃 梶田 中武
 名敦 國道 名古屋工業學校 村田 充
 福井 國道 〃 鷲塚 均
 名古屋工務課 關西商業學校 淺井 久夫
 名敦 國道 福井縣立農林學校 山口 市雄

二三名

各講師には御多忙中此企に滿腹の御援助を頂き熱心に講義して頂いたことには厚く御禮申し上げます。生徒は學校出立の人ばかりであるから永い經に靜肅に聽講した。生徒は學校出立の人ばかりであるから永い經驗を得られた講師の御話には得る處が多かつたであらうと思ふけれど尙聽講して夫れが直ちに血になり肉になることは期待出来ないであらう。然し生徒達が將來實際の仕事をやつて行く間には其の講義を思ひ出して次第に講義の効果を悟るであらう。殊に直轄工事をする必要なる直轄工事整理方法物動計畫資料配給官廳會

計土木法規の如きは學校でも餘り習はないことなのであるから生徒達に見れば得難い機會であつたことと確信する。午前には現場作業をして午後學科を配した時間割に就ては相當の御意見もあり、又實際に於ても午前中トロ運搬をやつて午後から講義を聴くことには、生徒達に多少の苦痛を與へたのであつたけれども私としては土木技術者としては勞務者と同じ様な經驗をして置く必要があると考へ同じ様な時間割で同じ様な作業をする様に夫れには午後よりも午前を勞務者の時間割に合せるのが適當であると確信して斯く決めて頂いたのである。

日曜日の伊勢神宮參拜及日本武尊御墓參拜行軍を生徒達に喜んで頂いたのは私も嬉しかつた。地理的條件の良かったことに感謝するものである。鈴鹿工事事務所は全く聚落から離れた處にあり伊勢神宮參拜の前日には髪も刈りたいと云ふので四料程ある處まで馳足で散髮屋へ行かせた。

此鍊成所に於て最も名譽とする處は鈴木内務技監が態々來所して下さつて直接生徒を檢閲せられ且激勵の御訓詞を頂き、且つ宿舍をも巡視して頂いたことである。又富永所長が開所式及閉所式とも御列席頂いて御訓詞を頂いたのである。此御訓詞は土木技術者たる者の充分に體得して居なければならぬ教訓に富んだものであつたので生徒は勿論のことであるけれども其の式に列席さし

て貰らつた職員一同非常な感動を受けた。お許しを得られるならば其の全文を此處に掲げたい。

〔會長の開所式に於ける訓詞〕

昭和十八年四月十日第一回訓練開會訓辭

諸君ハ今回土木技術ニ關スル學業ヲ終ヘ、名古屋土木出張所ニ於テ光輝アル内務省直轄土木工事ニ從務セラルルコトトナツタノデアリマス。

抑々内務省直轄工事ハ明治七年蒼工ノ澁川低水工事ニ端ヲ發シ茲ニ約七十年ノ歲月ヲ閱シテ居リマス。其間治水ニ、道路改良ニ港灣修築ニ幾多ノ大專業ヲ完成シ、國運ノ伸張ニ貢獻シタ所甚大ナルモノガアリマス。直轄事業ノ中最モ古キ歴史ヲ有シテ居ルモノハ治水事業デアリマシテ、之ニ支出シタ金額ハ昭和十六年度迄ニ六億二千萬圓ノ巨額ニ達シテ居リマスガ、其效果モ亦莫大ナルモノガアリマス。關東平野、大阪平野、尾濃平野、越後平野、庄内平野、仙臺平野等我國樞要地帯ハ改修工事ノタメ殆ド水害ノ慘禍カラ免レルニ至ツタノデアリマス。而モ明治御維新當時我國ノ米産額年平均均三千萬石ニ滿タナカツタノデアリマスガ、爾來増産又増産ニ拍車ヲカケ、現今ニ於テハ年七千萬石ニ垂々トシテ居リマス。之ハ農業關係者ノ努力ニヨル所甚大デアリマスガ、又我國治水ノ伸張ニ負フ所多大ナルモノガアルノデアリマス。又港灣改良工事ニ於テモ神戸、橫濱、下關、門司等ヲ始メトシ幾多ノ重要

港灣ハ一應港灣施設ヲ完成シ、今次大戰ニ於テモ港灣荷役ニ支障ナカラシムル様ニナツテ居リマス。

又道路改良工事ニ於テハ近時激増セル自動車交通ニ對應スル様路面工事、橋梁工事ヲ完成シテ居ル次第デアリマス。

直轄土木事業ハ河川、道路、港灣ノ重要ナルモノニ就キテ施行シテ居ルノデアリマスガ、之等ノ工事デモ比較的規模ノ小ナルモノハ府縣ノ經營ニ委ネラレテ居リマス。

土木事業ハ此外鐵道、軌道、上下水道、發電水力、干拓等幾多ノ事業ヲ施行シテ居リマスガ、我直轄工事ヲ除ク他ノ工事ハ大體ニ於テ請負工事ノ方式ヲ採用シテ居ルノデアリマス。或時代ニ於テハ直轄工事ノ全廢又ハ縮少等ガ唱ヘラレタ時代モアリマシタガ我々ノ先輩ノ非常ナル努力ニヨリ之等ノ受難時代ヲ切り抜ケ、今日ノ隆昌ヲ致シタノデアリマス。内務省直轄工事ノ昭和十八年度豫算ハ治水事業三千六十萬圓、國道改良事業千六百七十七萬圓、港灣改良事業二千四百六十八萬圓、合計七千二百五萬圓ニ達シテ居リマス。

此外内務省ニ於テ軍及其他カラ委託ヲ受ケテ居ル事業モ亦巨額ニ達シテ居ルノデアリマス。

我直轄工事ハ工事ノ質々優良ナル點ニ於テ今日迄我國土木事業ノ指導的地位ヲ確保シテ參ツタノデアリマスガ、優秀ナル技術者ノ養成ニ對シテモ多大ナル貢獻ヲナシテ居リマス。滿洲國ノ建設

以來北支、中支ノ建設事業ニ於テ我技術官ハ赫々タル功績ヲ擧ゲテ居ルノデアリマスガ、此等技術團ノ中心ハ何レモ我々ノ同僚カラ組織セラレテ居ルノデアリマス。現在ニ於テハ優秀ナル人の資源、優秀ナル組織、將又整備セル機械器具ノ點ニ於テ、我國最優秀ニシテ且最大ナル建設團タルコトヲ我々ハ確信シテ居ル次第デアリマス。

我々ガ多年孜々營々トシテ努力シテ來マシタ直轄工事ノ眞價ハ近來我國各方面ノ認識ヲ深メルニ至ツタノデアリマス。又大東亞戰爭勃發ニヨリ我國ハ國家ノ總力ヲ擧ゲテ米英擊滅ニ邁進シナケレバナリマセンノデ、最近ニ於テハ飛行場ノ建設、工廠ノ敷地造成等多大ナル陸海軍ノ施設ノ委託ヲ受ケ施行シテ居ル次第デアリマス。國家非常ノ際我々ガ多年研鑽シマシタ技術ヲ以テ直接國防ニ關係アル工事ヲ施行シ得ルコトハ我々ノ大ニ光榮トスル所デアリマス。

我直轄土木工事ハ數十年ノ訓練ニヨリテ上ヨリ下迄一ノ組織ヲ完成シテ居ルノデアリマシテ、此ノ組織ガ一部デモ缺ケテ居ル所ガアレバ、完全ナル工事ノ遂行ハ期シ得ラレナイノデアリマス。仍ツテ我々ハ此ノ各層ノ技術者ヲ養成シ、先輩ニヨリテ殘サレタル組織ヲ繼承スルト共ニ、更ニ強化シテ行ク義務ヲ有スルノデアリマス。又之ガ御國ニ報ズル我々技術官ノ最大責務デアリマス。然ルニ大東亞戰爭勃發以來幾多優秀ナル同僚ガ應召サレルト共

ニ、又南方建設ノタメ派遣セラレテ、直轄工事要員モ大分手不足ニナツテ居ルノデアリマス。

從ツテ今回採用セラレタル諸君ノ責務モ重大デアツテ從來數年デ修得シタ技術ヲ極メテ短期間ニ於テ修得シテ貰ハナケレバナリマセン。又土木技術程實地ノ經驗ヲ必要トスルモノハナイノデアリマスカラ、諸君モ現場ニ於テ上司指導ノ下ニ實地ノ修練ヲ積マレ一日モ速ニ直轄工事ノ要員タル資格ヲ鍊成シ、以テ土木報國ニ邁進セラレンコトヲ切望スル次第デアリマス。

本訓練ハ此目的達成ノ一助トシテ計畫シタモノデ、年度始メニ當リ、各方面トモ非常ニ多忙デアルニ拘ラズ、開催シタノデアルカラ此主旨ヲ體シテ訓練所長、生徒主事及指導員ノ指導命令ヲ遵奉シ心身ノ修練技術ノ修得トニ充分勉強セラレンコトヲ望ムノデアリマス。

◇
生徒達が此鍊成を如何に感じたかに就て、閉所式前日に「鍊成に關する感想」を綴らせた。何れを讀んでも感激を以て全力を以て此鍊成を受けたことが明かに讀みとられる。今其のうち三編を此處に掲げる。農林學校を出て土木に志ざした方が此鍊成に依つて、土木技術の眞髓を把握せられたと云ふのや。同じく天龍川工事事務所に従務せられて同僚としての山口君と鍊成所に於ける山口生徒主事とを全然別人を見る様に思へたと云ふ様な處などを讀

むと如何に眞劍に山口生徒主事が此鍊成に當られたかが窺はれるであらうと思ふ。

◇
此處には一々名前を擧げないけれども此鍊成所を預かつて、一切差し障りなく作業實習の指導をせられた方達配給を受けて食事の世話をせられた方達、又食器等の借入に御盡力下さつた方達の獻身的の御奉仕には厚く御禮申上ぐる次第である。

尙私は山口君を見てどうしても私の事務所に頂きたいものと思へた。如何なる手段を盡しても従務替して頂きたいと決心した。そして富永所長のお許を得て仁科天龍川工事事務所に交渉した其の経緯は次の通りである。

私は此手紙を讀んで山口君を頂くことの考へを直ちに捨てた。日本軍人の偉さを熟々と感じたからである。日本軍人はどんなに立派な待偶を以て招聘しやうとしても絶対に敵國の糧は食べないのだ。夫れでこそ神國日本なのだ。又軍隊教育を受けた人を使ふことの六難かささも悟つた。命令には絶対に服従するのである。絶対に服従される命令をするには、神の如き判斷と文字通り滅私奉公の氣持を持つてゐなければならぬのだ。日本軍人の私欲の無き恐ろしい迄に感歎するのである。

私は山口君を部下に持つて居られる仁科所長に心から祝福する。

鍊成に關する感想

木曾川上流工事々務所
岐阜縣第一工業學校

小木曾 幸親

我等鍊成員が緊張に胸躍らせながら始めて見る加佐登の驛へ下り立ち輝く鍊成第一歩を踏み出してより早くも三週間の間光陰は流れんとしてゐる、我が家に歸る喜びと共にもう終つてしまふのだと思ふと何とも云へぬ寂しさに胸を搏たれる、あゝ思ひ出つきぬこの二十日間の月日よ。

先づ開所式に於ける會長閣下の御懇切なる御訓示に吾等は大いに感激したことであつた。今さらの如くにこの鍊成の意義の重大さと我々の今後の使命の重大さとを痛感しこの三週間を力の限り頑張り通して會長閣下の御期待に副ひ木曾川上流及母校の名譽を揚げやうとの覺悟を固めた以來二十日間、苦しかつた駐足も馴れない作業も行軍も、鍊成班隨一の小軀ながらこの覺悟と男の意地で人並以上にやりぬくことが出来たのだ、朝は五時起床より夕は九時の消燈に至る規律ある生活に於て又軍隊生活の一端を學ぶことを得た、なれない作業の實習によつてそのコツの習得及體力の増進を圖ることが出来た、午後の各技師の方々から承る學科に於ては我々が學校生活中に學び得なかつた尊いお話が我等の肉とな

り血となつたのだ、又三週間鍊成起居寢食を共にすることによつて尊くも得がたい團體生活の美を味はふを得た、食事の際互に譲り合つてゐる美しい風景や就寢の際に一つの床に枕を並べてお互に一日の勞苦をねぎらひ明日の活動を勵まし合ふ情景等を目撃することによつて修身學科を聞くにもまして己の心を洗はれることが度々であつた、あゝ思へばこの三週間に得たものゝ多いことよ。楽しい思出としては十九日の伊勢參宮であつた、トラツクで御伊勢參り思つても嬉しい、一般人としては當然望み得ない事だ、内務省なればこそ、と何かしら一種の優越感を覺える、それと同時にあの出發の朝鍊成所長殿より「今日は御伊勢參りをして戴くことになつてゐますが何分トラツクですから私は皆さんが歸られるまで心配してゐますから氣を付けて元氣に行つて来て下さい」との御訓示あり、我々のトラツクをジツと見送つて立たれた所長殿の御心配さうな御様子あゝこれ程まで拙い我々のことを御心配下さつてゐるのかと自ら目頭の熱くなるのを覺へると同時にこの所長殿の御心配に對してもしつかりやらなくてはとの覺悟を益々固めたのであつた。

しかしこの鍊成も終らんとしてゐる、自分としては勢一杯に頑張つた心算だ、一生懸命やつた心算だこれによつて會長閣下にも所長閣下に幾分なりともお報ひすることが出来たと思へば非常に嬉しい。

又三週間の長きに互つて我々の上官となり又は楽しい時には兄となり寢食を共にし我等の爲に誠心誠意御指導を賜つた、山口主事殿の御心勞に對して我等鍊成員はどれだけ感謝すべきか、又不馴な我等を作業一般に互つて御指導下さつた方々に對しても本當に感謝しなくてはならない、この御恩に報ゆる我等の道は唯一つこの三週間の尊い體験を基として歸省の後、それ〴〵の職場に於て内務省の爲ひいては皇國の爲に、一心に技術報國に邁進し、又三週間に於て一層鍊磨された體力を以てやがて成人の曉は天皇陛下の御爲に、御奉公出来る立派な日本國民とならなくてはならぬ、この鍊成によつて我等の精神は肉體はいよいよ磨きをかけられたのだ。

何たる喜び、何たる嬉しさ。

沁々と内務省へ入り嬉び皇國に生れた嬉しさを思ふのである
あゝ思出は滾々として盡きない。

こゝに謹んで會長閣下を始め鍊成會役員皆様の御多幸をお祈致
します。

内務省名古屋土木出張所よ！

そして鍊成會よ！ 永久に榮あれ。

X X X

鍊成に關する感想

天龍川工事々務所
名古屋鐵道學校

梶 田 中 武

三週間の鍊成も早すぎて長いと思つたほどの事もなかつた。
二月前の學窓にもどつたやうな氣がする、朝五時に起きて朝飯前の駐足は何か腹にびんとこたへた。

此の三週間の鍊成は實に意義深いものであり、我等將來のためにも効果的であつた、加佐登驛からトラックに乗つて鈴鹿工事事務所へ来る途中は鍊成期間が随分永いもののやうに思へた、山口主事殿の態度がいつも役所にゐる時とはよほどかはつて見えた、しつかりした號令はしらずと我々の心をひきつけた。

二月前の學校生活の事が思ひ出されて來ていつかしらぬ間に此の宿舎であり又我々のなつかしき夢の床のやうにも思はれた、だ
が知らぬ間に此の鍊成會もすぎさつてあと一日となり此の生活も二度と再びこんな事をしないと思ふと駐足をさせられた事が胸に浮んで思はず笑ふ事もある、しかしあのトロツコの土運搬、軌條敷設はなんともいへぬつらさだ、朝五時に起きる時も家ならもつとゆつくり休めると思ひ起きる時は大變つらかつた、其の他二十五日の行軍も十八日の伊勢參りも心に残る一つである。

鍊成會もすんだと思ふと氣がゆるんで来てしまつていつしか、故郷のなつかしさが胸にしみる、今日の天氣も晴れて今後の覺悟をしつかりと思はせるかのやうに雲間から顔をのぞかせてゐる。我等も太陽のやうにしつかりと遠くまで希望をもつて元氣に進まうと思ふ。

鍊成に関する感想

名敦國道工事事務所

福井 農 林

山 口 市 雄

扱此の三週間は私にとつて誠に偉大なる體驗であつた、今學校生活を回顧すれば平坦たる道を而かも鬼の首でも取つた様な希望を以て實社會に出て土木の畑に踏込んだ、然し其處には思つたよりなほ奥深き土木工學に突きあたつて身に苦しみと無智を痛切に感じさせられた、如何にして此の道を進むべきかとも考へさせられた、特に私は直接土木技術の學科は習はなかつたけれど唯一筋に土木の道を選んだので一時は「方向を間違へたかな」とさへ思つた時に今回の技術鍊成會の豫告があり「すは」と光明が胸に射し込み此れでこそ内務省だと事も無げに嬉んだ。

先に本所に於ける製圖の講習に参加した、此時既に此の様な土木技術講習機關が我々若人の爲にあればと鐵道關係の友人の事が

歸途の車中にて感じた、今鍊成生活を回顧するに早朝より二十時の點呼までの規則ある日常生活、吾々青年たる鍊成員の望んでゐた經驗であつた、殊に技術的の實習で土工作業、芝付作業と實地の體驗一物も残さず肉となれ身となし體の何處かへ浸み入るのを覺えた、又午後は各所長技師殿の御足勞を得て技術學科を受け經驗的學科道路、洪濤、砂防、河川總て一通り教へられ土木の輪畫が頭に浮べられたばかりでなく進學の緒が開かれて來た、我等として之れ以上望む所はない、此の三週間に得たものを基礎として學ぶべきである、又學ぶんだ、鈴鹿市の地に立つて朝日の浮び出る朝靄を呼吸して『撃ちてしまむ』の國民の合言葉も一層心を勵ました。今や大東亞戰爭一段階に生れ合せたる我等は此良き經驗を基礎に一億土木使命者として進む自信を得たのである、職域奉公以て大政を翼賛する赤心に燃えて今鍊成を終へ自分の所場に歸らんとして居る。

心の何處からか清水のわき出る如く限りなき嬉しさが今身を張り切らせる思ひである、さあ「やるぞ」青年だ、必ず立派な技術者として奉公するのだ、千田技師殿の別れの我々への希望も今更の様に頭に浮んで來る、今一言にして感想を述べよと言はれても適當な言葉も浮び兼ねるが誠に良き經驗であり今こそ第一歩の土木技術を踏み出す精氣を與へられたと云ふより外に何ものもない此の三週間は又と得がたき換言すれば思ひ出多き生活であつた。

池本技師より仁科技師への手紙

今同當事務所に於て新卒業生錬成に就て山口技手補を御派遣相成候處同君は誠に適任者に有之豫期以上の成績を擧げつゝあり、御配慮に深謝致居候扱て甚だ勝手なる御願ひには有之候へ共當所工事是一年を通じて一日出役勞務者一千餘名を就役せしめざれば完成し得ざる程度のものに有之候處之が見張所主任となる可きもの僅か二名にして到底完全なる工事進行を期し難き状態に有之且つ少數監督員にて千餘名の勞務者を指導監督せしめんには勞務者を軍隊的訓育に依り勤勞報國を自覺せしめ自發的に就勞をせしむるに非ざれば他に手段無之と愚考仕り居候 而して此勞務者の軍隊的訓育者として山口技手補は最適任者にして同君以外に見出し得ずと確信仕り居り候、固より貴所に於ても人員不足の折柄誠に申兼候へ共事情御推察の上何卒同君を御割愛被下度懇願仕り候 若し御同意を得ば早速にも手續を致し度存じ居り候

仁科技師より池本技師への手紙

拜啓春暖の候愈々御清條の段奉慶候候 陳者貴工事へ應援中の技手補山口鹿之助儀貴官御指導の下に意外なる好評を博し居る模様にて推擧致したる小官の面目亦之に過ぐるもの無之、之偏へに貴官御高庇の賜と深謝致し居る次第に御座候、同人を貴工事に割

愛の件に就いては先般參上致したる折にもお話有之、當方としてはいさゝか困る事には御座候へ共折角の御希望もだし難く且つは「人生の意氣に感ず」にて是非にと云ふ人の下で働くことも、男子一生の面目とも存じ當人さへ差支へ無之くは先づ差上げる積りにて歸りたる次第に御座候處、其の後同人より同封の如き手紙參り出來得れば當地にて次のお召しを受くる迄母、妻子、達と共に暮し度き旨申して參り候 考へて見れば既に數回の應召をし、しみんゝと家族的なる生活も致し居らざる同人の事として又同人の書狀にも有之通り既に戰場の華と散る覺悟致し居る者には少しの間でも妻や子と生活させてやり度く考へられ、又素直なる同人の事として、小官が命鹿に行けよと云へば一も三もなく參るべきもさう云ふ人間故に却つて小官としては云ひ辛い事にて同人手紙を見て以來どうすればよいか實に迷ひ居る次第に御座候 或は貴官の御配慮によりそちらに家でも工面して頂きそちらにて一家揃つて暮せる様にしたならばどうだらうか等と考へたりして居る始末に御座候

以上の様なる譯に御座候間甚だ恐縮ながら貴官より腹藏なき意見を御聽取被下候てよき様に御取計ひ被下らば幸甚に御座候 小官としては山口が喜ぶ様にしてやり度き以外には何等の存念も無之次第に御座候 何れ事務所長會議にて近く御面接致す事として其際篤と御相談申上度と存する次第に御座候もとり敢へず右要用の

み御返事申上候

時候不順の折柄御自愛專一に奉祈上候 敬白

山口技手補より仁科技師への手紙

謹んで申述べます。

過日は濠路の處御出張下され御講義を承り小生はじめ一同大いに得る所が有りました事を衷心より深く御禮申上ます。

愈々錬成期間も餘す所數日に迫りました。仁科所長殿の御厚志に對しましても又天龍の名にかけてもと存じ一意専心微力を盡して居ります。

指導するといふ事は先づ以て指導者自身が範を示す可きでありまして小生としてはさながら軍隊に在ると同様の精神同様の動作を以て當つて居ります爲に自分乍ら時々錯覺を起してよく生徒を捉へて『兵隊々々』と呼ぶこともある始末で有ります。

生徒も最初の中は單に嚴格な生活とのみ考へて居た様でしたが最近は錬成の意義小生の意圖等をよく了解して呉れまして緊張そのものゝ生活を送つて居ります。僅かの期間によくこれ迄になつて呉れたものと却て自分より生徒に對し感謝したい氣持で一杯で有ります。

過日所長殿の御出張に先立ち、こちらで小生の轉任方に就きお話も御座いしましたが、小生としては上司の御命令に依て出張して

居るに過ぎず直接諾否を申す可き筋合ではなく、そのまゝに過して居りましたが今回計らずも所長殿御出張に際し重ねてそのお話を承はつた次第であります。就きまして右の件は所長殿の御命令とあらば勿論小生としては云々申すべき事柄では御座いませんが小生の心境を申し上げますなれば、元來小生は奉職中の過半数を軍隊生活に日を送り家庭生活に殆んど席の温まる時とてありませんでした。

然るに現下の情勢よりして小生の再應召は必然中の必然にしてその變は必ずや草むす屍とかねく覺悟を固めて居ります。

故に小生としてはせめて銃後に在りて奉職中は年老ひし母の膝下に在りて孝養の眞似事なりとも致し度く加へて日頃より病身の妻に對しては幾分なりとも夫として務を果したく是れ小生日頃よりの念願であります。右様次第にて出來得れば所長殿の指揮下に在りて御奉公致し度く甚だ勝手乍ら右申述べたる次第であります。多忙のため非常に亂筆にて此點何卒御寛容願はしう存じます。末筆乍ら所長殿の御健康を衷心より祈上ます。

